

## 介護サービス事業者、病院・施設、自治体・地域包括支援センターの皆様へ

「介護の日しんぶん」では、介護を受けておられる方や介護を提供されている方、これから介護を必要とする方などが、介護に対する理解を深め、「大変だけど、明日も頑張ろう」と感じてもらえるような紙面をお届けいたします。

「介護の日」に合わせて、一般の高齢者や利用者・家族、これから介護の仕事に携わろうと考えている方々に、「介護」に対する理解を深めてもらえるよう、「介護の日しんぶん」を活用してみませんか。

例えば、①「介護の日」のイベントに合わせて配布②事業所のサービスの一環として配布③従業員の研修や介護労働に対するモチベーションの向上④地域にPRするための材料——などで活用していただけます。

上記のような活用の場合、**100部単位で1部85円(税・送料込み)**にて提供させていただきます。この機会にぜひ、「介護の日しんぶん」をご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

- 概要**
- 媒体名……………「介護の日しんぶん」
  - 発行日……………2018年10月下旬
  - 体裁……………ブランケット判 12ページ(カラー&モノクロ)
  - 発行部数……………10～20万部(予定)
  - 主な読者対象……………介護保険利用者・家族、介護事業者・従事者、一般高齢者、介護養成校学生
  - 購読料金……………1部300円(税込)

**申込み** 以下の申込書に必要事項をご記入の上、本社宛にFAXでお申込み下さい。

**FAX 06-6766-7812**

弊社ホームページ(www//care-news.jp)からも注文を承ります。

キリトリ

### 「介護の日しんぶん」お申込書

ご注文部数：100部単位(1部=税込85円)

100部 × 組 = 計 部(計 円)

事業所名 \_\_\_\_\_ 支店・部署名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX番号 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

#### 株式会社シルバー産業新聞社

■本 社  
〒542-0064  
大阪市中央区上汐2丁目6番13号 喜多ビル  
TEL (06) 6766-7811  
FAX (06) 6766-7812

■東京オフィス  
〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町3丁目27番3号 ガーデンパークビル  
TEL (03) 5888-5791  
FAX (03) 5888-5792

# いい日、いい日。 11月11日は 介護の日 「介護の日しんぶん」

#### <趣旨>

「介護の日」は「11月11日」を介護に関する啓発の日として、厚生労働省が2008年に制定しました。例年、「介護の日」を中心に、その前後2週間を啓発活動の重点実施期間に位置付け、介護事業者や厚生労働省、地方公共団体などが連携し、全国各地で「介護の日」の趣旨にふさわしいイベントや啓発活動が実施されます。

2025年には、団塊の世代が全て75歳以上となり、後期高齢者の数が2000万人を突破します。その中で、家族形態の変化による独居や老老世帯の増加、さらには認知症や医療ニーズを併せ持つ高齢者の増大が見込まれており、「わが国の介護をどうしていくのか」は、もはや国民的課題といえるでしょう。

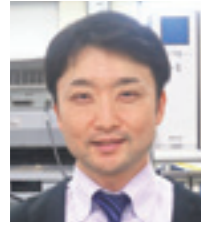
今後、少子高齢化が更に進展していく中で、介護をより良いものにしていくためには、国民一人ひとりが身近な問題として捉え、あるべき姿を考えていくことが大切です。そこでシルバー産業新聞社では、2016年度から「介護の日しんぶん」を創刊し、介護に関する情報や介護の魅力などについて情報発信しています。

だれにも避けられない高齢期の介護について、「介護の日」に合わせて、介護を受けておられる方や介護を提供されている方、これから介護を必要とする方などが、介護への理解を深め、「大変だけど、明日も頑張ろう」と感じてもらえるような紙面をお届けいたします。

シルバー産業新聞社

## 座談会 「私たちが支える、介護の現場」

厚生労働省の福祉人材確保対策室長が気鋭の介護経営者、現場で大活躍のケアワーカーとともに、介護の仕事の面白さや、現場の工夫、働きやすい環境を整えるための方法などについて、熱く語り合ってもらいます。



厚生労働省社会援護局  
福祉人材確保対策室長  
柴田 拓己さん



株式会社カラーズ  
代表取締役  
田尻久美子さん



株式会社ケアワーク弥生  
森近恵梨子さん

## 在宅を支える医療・介護のスペシャリスト

高齢や病気になっても、住み慣れた家や地域で暮らしたいと考えた時に、あなたを支えてくれるのが、医療・介護のスペシャリストです。それぞれの職種が担う役割を紹介します。

①医師②歯科医師・歯科衛生士③看護師④理学療法士・作業療法士・言語聴覚士⑤薬剤師⑥管理栄養士⑦ケアマネジャー⑧訪問介護員⑨福祉用具専門相談員

## 広げよう！在宅医療



やまと診療所 院長 安井 佑さん

慢性期の医療は在宅を中心におこなわれようとしています。安心して自宅で介護生活を送るために在宅医療の動向が注目されています。在宅医療の普及に取り組むやまと診療所の安井院長に、在宅医療利用の現状と安心して利用するためのポイントについて、分かりやすく話していただきます。

## 介護で困った時の相談先（ケアマネジャー、地域包括支援センター）



服部メディカル研究所 所長 服部 万里子さん

介護が必要になった時、あなたの相談に乗って、さまざまな調整をしてくれる心強い味方がケアマネジャーです。現役のケアマネジャーであり、メディアでも広く活躍する服部万里子さんに、ケアマネジャーや地域包括支援センターをどう活用し、相談すればよいかについて実践的に話していただきます。

## 「おひとりさま」（予定）



NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク 理事長 上野 千鶴子さん

高齢化が進み、家族に先立たれ、一人暮らしとなる高齢者が増えています。誰もが将来、「おひとりさま」の老後を迎える可能性がある中で、私たちはどのような準備や心構えを持てばいいのでしょうか。ベストセラー「おひとりさまの老後」で知られる社会学者の上野千鶴子さんに聞きます。

## 本人と家族を助ける福祉用具



全国福祉用具専門相談員協会 理事長 岩元 文雄さん

介護ベッドや車いすなど、介護が必要になった時にあなたを助けてくれる道具が、福祉用具です。介護負担の軽減にも福祉用具は欠かすことができません。全国福祉用具専門相談員協会の理事長で、日々の現場の仕事を書籍「福祉用具のちから」にまとめた岩元文雄さんが、福祉用具を使うことで、どのように生活を変えることができるのか語ってもらいます。

## 最先端技術を用いた介護（AI、ICT、介護ロボット）

ICT・IoTや介護ロボット、AIなど、介護の世界にも最先端機器、テクノロジーを使った新しいケアの形が生まれています。そのなかでもしっかり役立つ最先端機器やテクノロジーを紹介します。

## 介護食はおいしく、ちょっと手抜きで



日本在宅栄養管理学会 副理事長 中村 育子さん

よい治療、よい介護の前に、栄養状態の維持・改善が重要です。通常の食事を噛んだり、飲み込みにくくなったりした人にとって、介護食は介護の程度に合わせて手軽に利用できます。自宅で本人・家族が無理なくできる介護食や食事ケアについて、実践者の中村育子さんに解説していただきます。

## 私の介護体験記



アナウンサー 町 亜聖さん

フリーアナウンサーの町亜聖さんは、大学受験を控えた18歳のとき、母親がくも膜下出血で倒れ、10年に及ぶ介護生活を経験しました。テレビ局のアナウンサーという華やかな仕事の裏で、介護と仕事の両立に悩み、幾多の困難にぶつかってこられました。それでも元気を失わず、ひたむきに介護を乗り越えてきた町さんに、介護への思いを伺います。



介護老人保健施設「菜の花」



白寿園ヴィラフォーレ荻窪

※紙面内容は現時点での予定であり、変更する場合がございます。